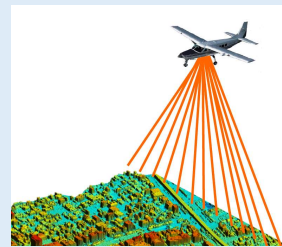


森林情報基盤整備事業

三重県は、空から森林を測る技術、「航空レーザ測量」を活用し、災害に強い森林づくりを推進します。

航空レーザ測量とは？

「航空レーザ測量」とは、飛行機やヘリコプター等からレーザ光を地上に照射し、跳ね返った位置を3次元点群情報として記録・解析することで地形を計測することができる測量方法です。



詳細な地形がわかる

従来の空中写真

航空レーザ測量による立体地形図

侵食の様子

詳細な地形がわかることで、土砂災害が発生しやすい箇所がわかり、対策が必要な箇所の抽出等ができます。

樹種の違いがわかる。

従来の空中写真

航空レーザ測量による樹種判読支援図

空中写真では影でわからないような樹種の情報取得できます。

森林の現状がわかる。

従来の空中写真

航空レーザ測量による森林資源解析例

混みあった森林
⇕
管理されている森林

これまでは現地に行かなければわからなかった、森林整備を進めるべき箇所を抽出することができます。